

第4回茨城県総合計画審議会コメント

2018年8月20日

徳田和嘉子

大変恐れ入りますが、欠席となりますので、下記意見をお送りいたします。

8月9日付資料を拝見しておりますので、当日までにアップデートがある内容がございましたらご放念ください。また、パブコメ募集に間に合わない意見がございましたら適宜ご調整ください。

1. キャッチフレーズ

案1 「挑戦する茨城」を支持。

理由：大胆な内容を提唱するときは、シンプルな表現が良い。また、茨城の県民性から最も受け入れられやすい。

2. 総合計画原案：概要（p.2-3）

非常によくまとまっていると思います。将来構想に最もスペースが割かれているのも好ましいです。

難点を挙げるとすれば、国に対して、他の都道府県に対して、は優れた内容になっていますが、県民に対しては情報量が多過ぎるとも言えるかと思います。不特定多数が見ますので、原案とは別に、デザインのプロフェッショナルを入れて、文字数を減らして頭に直感的に入るようにし、改めて県民に広く知らしめる1枚を作成すると尚良いと思います。

3. ゾーンの名称

8月16日付最新案を拝見しました。広域交通網に沿って分けした11のゾーンとっておりましたが、初案に比べ、名称に広域交通網が入っている・いないでブレが生じているように思います。議論を経ての結果だと思しますので、経緯につき発表はせずとも理由をきちんと準備しておく方が良いかと思えます。

4. コミュニティの在り方

県民が一番気にするのがここだと思います。ゾーンがやや大枠にまとめられていますので疎外感を感じる県民もいるかと思いますが、あくまで県政上の分けであり（特に上記3の通り交通網に沿っていると説明すれば納得感はあるかと思いますが）、これとは別に、日常のコミュニティに関して県はこのような考え方を持っている、とコラムなどで表現するのはどうでしょうか

5. 目標年次

>・地域づくりの基本方向の目標年次は総合計画本編と基本的に同じ

>・将来人口推計は、直接、社人研推計の最新データを引用

につき、どこかに注釈では必ず入れるべきと考えます。

6. 数値目標

明記されており良いと思います。成り行きの数値でなく努力して達成できる数値を出しいらっしゃると期待しております。

ただ、よくできている一方、逆に気になるところがあります。

・ p.41 政策5 数値目標

「霞ヶ浦における COD 濃度」が数値に変化なし。検索すると平成 28 年度から平成 29 年度にかけて変動があったようなので、素人としては変動があるのでは（変動させるべきなのは）と思いますが、なぜ変動のない数値を掲げているのか説明の併記がほしいです。

・ p.109 県庁財政運営 数値目標

これだけ改革と書かれている中で、「挑戦できる体制づくり」→「現状程度の職員数を維持」と変動がなく理由の説明がありません。「未来志向の財政運営」→「全国中位以下・前年度以下・黒字」と他の箇所が明確に数値を出しているのに比べて大雑把過ぎて違和感が強いです。何か理由があるのでしたら付記が必要と考えます。

7. 進捗・達成度確認方法

PDCA を回すため、数値目標の達成をどう確認していく予定なのか明言が必要と思います。

以上